

持続可能な地域づくり要望書

2023 年度 一般社団法人鹿屋青年会議所



目次

P.02 はじめに

要望書作成までの歩み

P.03 地域づくり冊子制作

P.04 『青年の想い！明るいおおすみ未来計画開催』

P.05 『「おおすみ全体会議」～みんなで創る明るい未来～』開催

P.06 要望一覧

P.07 要望①…

行政と民間との意見交換が行える機会を増やす

P.08 要望②…

おおすみの日（おおすみ DAY）の制定

P.09 要望③…

おおすみブランドの確立と活用

P.10 要望④…

鹿屋青年会議所への各行政からの出向

はじめに

平素より、当会の活動に対しまして、温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

近年、おおすみ地域は人口減少や少子高齢化などの一朝一夕には解決しない社会問題を受け、学校や商店の消失、地域コミュニティ機能の低下、地域産業や文化の衰退など様々な課題に直面しています。これらの課題に対処するために、まずは、おおすみに住み暮らす私たちが、地域の将来に対する危機感と当事者意識を持つことが必要です。また、行政と民間との連携を強化し、地域一体となった継続的な取り組みが重要であると考えました。

そこで、当会は地域づくりを精力的に取り組んでいる方々との交流やインタビューを通して様々な意見を集約し、整理した冊子を制作致しました。また、多くの地域の皆さまと共に「持続可能な地域づくり」をテーマとした会議を開催し、地域の方々の意識に訴えかけるとともに、多数の意見や考えをいただきました。それらの情報を基に、持続可能な地域づくりへのアプローチを探求し、協議を重ね、本要望書を作成致しました。

本要望書は、地域の発展と持続可能性に貢献するための提言を含んでいます。おおすみ地域の明るい未来実現に向けてご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人鹿屋青年会議所

要望書作成までの歩み

①おおすみの課題発見と魅力発信

おおすみ地域づくり冊子『広げよう！おおすみのWA！』制作

【目的】

地域の方々に、おおすみで行われている魅力的な地域づくりを知っていただき、地域の将来に対する、当事者意識や連帯感、危機感をもってもらうこと

【概要】

おおすみ2市4町で地域づくりを精力的に行っている方100名を対象に当会会員がインタビューを行い、個々の活動内容や地域への想い、おおすみの将来像などの情報を集め、取りまとめた冊子を作成し、地域の方々に向けて発信致しました。

《完成した冊子》



《インタビューの様子》



②おおすみの課題発見と対策の検討

一般社団法人鹿屋青年会議所 9月例会
『青年の想い！明るいおおすみ未来計画』開催

【日時】

令和5年 9月26日（火）19：00～21：30

令和5年10月30日（月）19：30～21：30

【場所】

鹿屋市中央公民館 〒893-0007 鹿屋市北田町 11103 番

【目的】

会員の地域づくりへの意識と連帯感をたかめること

地域課題と行政へ要望すべきことを見出すこと

【概要】

本会は、これまで全会員で収集した、おおすみで精力的に地域づくりを行っている方々へのインタビュー情報を基に、課題や解決策について話し合い、持続可能な地域づくりに繋げるための政策について考えました。

グループワークでは、これまで交流やインタビューを通して得た情報等から、おおすみ地域の課題、対策、明るい未来について考え、また、行政へ要望すべきことは何かを検討しました。

また、鹿児島県議会議員 郷原拓男 様にご協力いただき、地域づくりに関する考え方や政策提言についてご講話いただき、また、グループワークの中でアドバイスをいただきました。

《当日の様子》



《協議の様子（2日に分け開催）》



③意見交換と地域づくり意識の醸成

『おおすみ全体会議 ～みんなで創る明るい未来～』開催

【日時】

令和5年10月21日（土）13：30～16：00

【場所】

ホテルさつき苑 〒893-0064 鹿児島県鹿屋市西原1丁目9-10

【目的】

地域の方々が、郷土愛と主体性が重要であることを認識すること

【概要】

「持続可能な地域づくり」をテーマに、おおすみ地域で精力的に地域づくりに取り組む方々を招いてパネルディスカッションを行い、また、ご参加された方々へライブアンケートを実施し、アンケート結果やグラフを会場スクリーンに即時反映致しました。

また、100名の地域づくりに関する情報をまとめた冊子を配布し、おおすみ地域の概要や課題を確認しながらディスカッションやライブアンケートに参加していただきました。

《当日の様子》



【参加者へのアンケート結果】

84%の方が「地域づくりに対する意識に前向きな変化があった」と回答されました。

88%の方が「地域の子供たちが郷土愛を持てるような地域づくりに取り組みたい」と回答されました。

【参加した感想（多いものを抜粋）】

- ・実際に活動される方の存在を知れてよかった。
- ・話を聞いて感銘を受けた。
- ・子ども達が、地域に住めたことを誇りに思えるように取り組みたいと思った。
- ・有意義な時間だった、次回も開催して欲しい。

要望一覧

1. 民間と行政との意見交換が行える機会を増やす
(モデル：おおすみ全体会議)
2. おおすみの日（おおすみ DAY）の制定
3. おおすみブランドの確立と活用
4. 鹿屋青年会議所への各行政からの出向

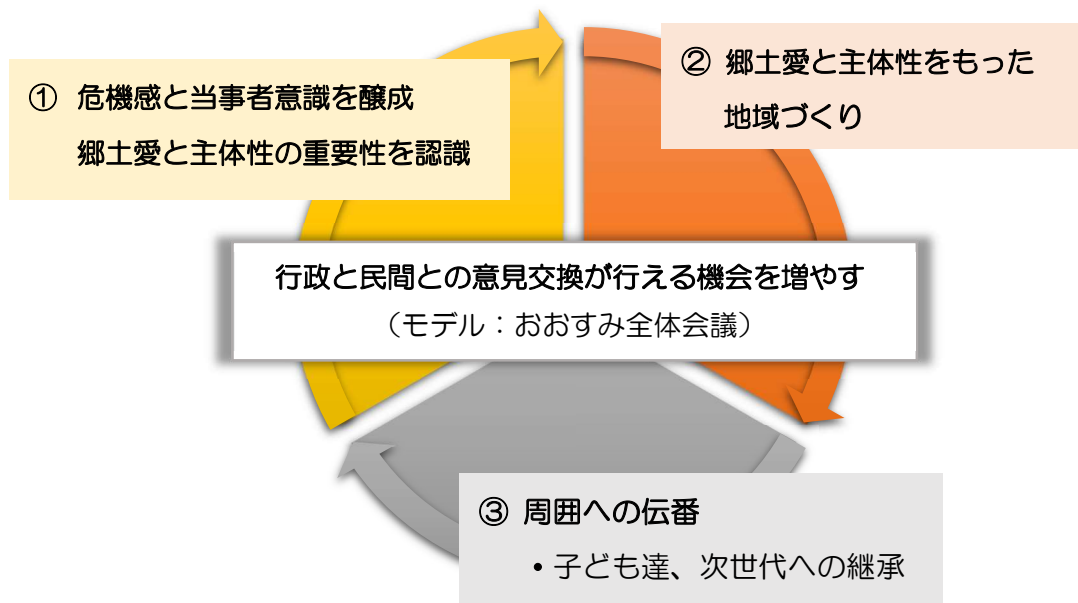
要望 ①

行政と民間との意見交換が行える機会を増やす (モデル：おおすみ全体会議)

この要望は、おおすみに住み暮らす方々の地域の将来に対する危機感や当事者意識を醸成し、郷土愛と主体性を持った地域づくりが重要であることを認識していただくことを目的とします。

この度、おおすみで精力的に地域づくりに取り組む方々100名へのインタビューを通して、民間と行政との連携が重要であるという意見が多くみられました。

また、持続可能な地域づくりをテーマにしたパネルディスカッション・ライブアンケート（おおすみ全体会議）では、他者の考えや意見を聞くことで地域づくりに対する意識があがった、定期的に開催してほしいという声や、行政や議員の方との意見交換を行いたいという声が多くありました。



今後、地域に住む方々の意識醸成に注力した機会を増やし定期開催することが持続可能な地域づくりに繋がると考えます。

要望 ②

おおすみの日（おおすみ DAY）の制定

この要望は、おおすみ地域全体が一体となって地域づくりに取り組んでいける体制の構築を目指すとともに、住み暮らす方々が地域の魅力に触れることや想いを馳せる機会を創出し、郷土愛の醸成や地域への関心を高め、ふるさとの継承や持続可能な地域づくりに繋げることを目的とします。

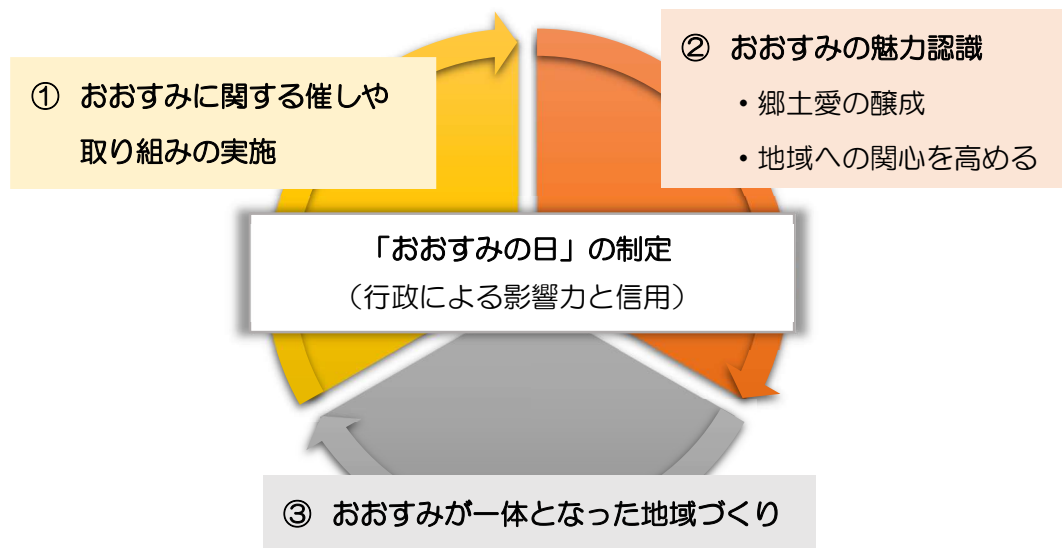
行政が、おおすみの日（おおすみ DAY）を制定し、地域について考えることができる機会づくりを推進します。例えば「特産品を使った給食」「地域の歴史を学ぶ授業」「地域に関する事業（食フェス、セミナー等）」等。

いずれは、公共施設の割引や無料開放など規模が拡大していくことで、より効果が得られると考えます。

■制定日（案）

『 7月13日 』

理由：鹿児島県の「県民の日」である7月14日の前日で認知と連携がし易く、大隅国が設置された「713年」に因み。



地域の方々が「おおすみ」を意識し、郷土愛を醸成するとともに「おおすみ」全体の一体感を高め（地域の将来や課題だけでなく些細なことでも）自身の暮らす地域について考えることで、持続可能な地域づくりに繋がると考えます。

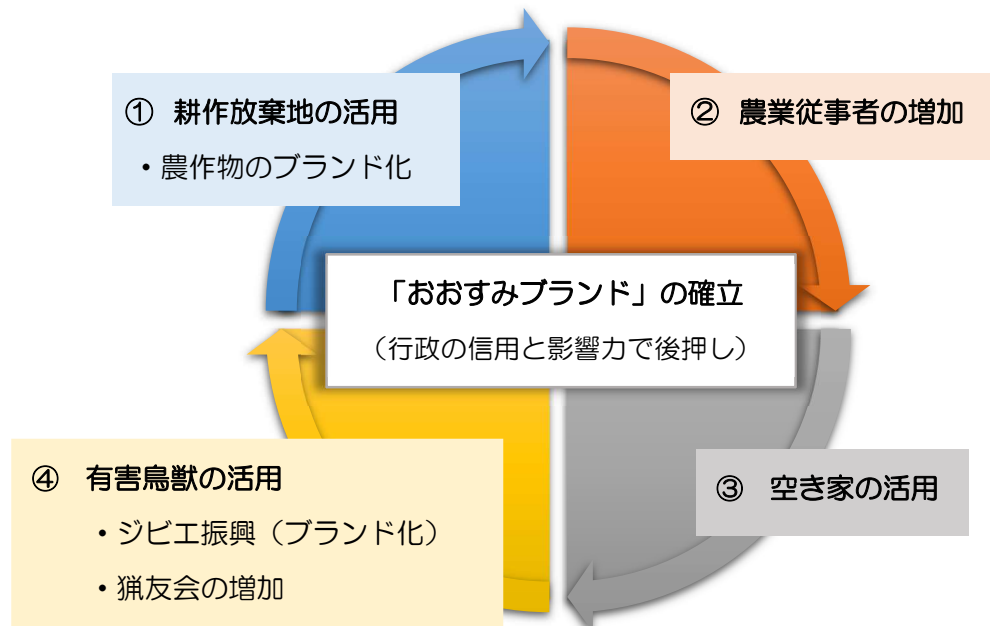
要望 ③

おおすみブランドの確立と活用

この要望は、おおすみ地域の行政が公認したブランドを確立することで、地域一体となった地域づくりに繋げていくことを目的とします。

おおすみ各地には素晴らしい地域づくりを行っている方々が大勢いらっしゃいます。どれも魅力的な取り組みではありますが、それらを行政の信用と影響力を持って線で繋ぎ、地域一体となることで、より大きな効果が生まれると考えます。

例えば、耕作放棄地を活用して生産された農作物を行政が「おおすみブランド」として信用と付加価値をつけて売り出し、継続的なPRと支援を行います。ブランドが確立し、農業が未来を切り開ける可能性があると感じた若者が県内外から流入し、現在各市町が抱えている空き家対策の解決にも繋がるのではないかと考えます。また、同時に鳥獣被害対策で生じた品に関してもブランド化することで、相乗効果を得られるのではないかと考えます。



おおすみブランドを確立させ地域が一体となって取り組むことで様々な分野が活性化し、持続可能な地域づくりに繋がると考えます。

要 望 ④

鹿屋青年会議所への各行政（2市4町）からの出向（研修派遣）

この要望は、行政と民間との繋がりを深めることで両者ともが効果的に地域課題に対して取り組むこと、また、地域を牽引するリーダーとしての能力を育成することを目的とします。

鹿屋青年会議所は、地域活性化事業や青少年育成事業など、地域と連携した取り組みを行いながら、様々な交流や経験を通して自身を成長させることが出来る組織です。行政担当者に出向いただくことで行政と民間の関係性が深くなり、より効果的な事業構築を行い地域に貢献し続けることが出来ます。また、行政担当者は、鹿屋青年会議所での経験を通して、地域の現状把握と課題解決に向けた事業に参加し、事業等の企画立案力を養うことや、民間との人的ネットワークの形成を行うことで、地域社会の発展に貢献することが可能だと考えます。



≪行政関係者の出向（研修派遣）歴等≫

2011年	1名（鹿屋市）	2017年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担
2012年	1名（鹿屋市）	2018年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担
2013年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担	2019年	1名（鹿屋市）
2014年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担	2020年	1名（鹿屋市）
2015年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担	2021年	1名（鹿屋市）
2016年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担	2022年	1名（鹿屋市）
		2023年	2名（鹿屋市）※内1名個人負担
		2023年	1名（肝付町）※個人負担



2023年度 一般社団法人鹿屋青年会議所